

理研会報

発行日：令和6年1月19日
号数：No. 412
発行：印旛地区教育研究会理科研究部
HP：http://rikainba.com
メール：rikainba@yahoo.co.jp

★★

去る8月23日（水）、印教研集会理科研究部会が開催されました。小学校部会は成田国際高等学校、中学校部会は成田小学校を会場とし、それぞれ3、4部会から提案をいただきました。そして、北総教育事務所主席指導主事 根本 達也 先生、千葉県教育庁北総教育事務所海匝分室 指導主事 柴田 道世 先生より、各提案について丁寧にご助言をいただきました。選考の結果、小学校部会、中学校部会の共に3部会が県教研へ進むことになりました。

近年、若い先生方が発表者になる部会が増え、ベテランの先生方が助言をしたり、若い先生方が質問や意見を堂々としていたりしている場面が多く見られます。今年もその様な傾向が見られました。また、討議の中で若い先生方を理科研究部全体で育てていこうという姿が見られました。

助言者の先生方、提案された各部会の先生方、司会、記録、受付補助等でご協力をいただきました先生方に、心より御礼申し上げます。



☆ 参観された先生方から ☆ (敬称略)

佐倉市立間野野小学校 田中 宏典

コロナ禍により、中止やオンライン開催が続く中、今年度は久しぶりに対面での発表を参観させていただきました、よい刺激となりました。提案発表の部会数は厳選されましたが、それでも他の先生方のご提案を拝聴することは、とても有意義なものと感じています。児童生徒のみならず、教員の理科離れがささやかれる中、提案された先生方並びに共同で研究にあたった研究部の方々等の取り組む姿勢や情熱が伝わり、「自分も今以上に励んでいきたい！」と思いを受け取った先生方は多くいらっしゃったのではないかと思います。

3部会の発表は、知識・技能の習得と活用による問題解決の力の育成を目指し、長く継続されてきた研究の厚みが感じられました。驚きや実感を伴う授業づく

りを軸とし、子どもたちの心にはたらきかけていく、理科の楽しさを具現化した素晴らしい実践でした。4部会は、児童の主体性を引き出すためのツールとして、ICTを活用した表現の場づくりを研究されていました。学校現場に浸透しつつあるICTを、より効果的に活用させるにはどうすべきか、改めて見つめ直すよい機会となりました。部会としての協力体制も温かいものを感じ、学校間のつながりや絆の強さに勇気をいただきました。

どちらのご提案も、自身の研究につながる素晴らしい実践が多く、大変参考になりました。この学びをいづれ先生方や子どもたちに還元できるよう、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。



佐倉市立佐倉中学校 高橋 利昌

印教研集会理科研究部会が3年ぶりに集まって開催することができたこと嬉しく思います。直接先生方からの発表、助言を聞くことができ、充実した研修となりました。ご多忙の中、北総教育事務所海匝分室指導主事・柴田先生をはじめ、発表、運営に携わって頂いた先生方に御礼申し上げます。

今回の提案は「ICTの効果的な活用」が多く、様々な実践例を用いた発表に私自身多くのことを学ばせて頂きました。三部会の「思考を深める生徒の育成～正確な記録のためのタブレット活用～」では、実験の様子を動画で撮影することで、繰り返し見直すことができ、そこから疑問が生まれたり、思考が深まっていったりすると感じた。また、調査結果から生徒が結果を見逃しやすい実験内容を作成したことで、生徒目線に立つことができ、指導に生かしていけると思った。

四部会の「より主体的な学習活動を目指す指導法の工夫～ICT活用による主体性を引き出す支援を通して～」では、ICTを活用したレポート作成や動画での記録をすることで、意見や考えを可視化、共有することができ、生徒達の主体性を育成することができると感じた。

今日学んだことを生かし、ICTを効果的に活用し、生徒達の主体的で深い学びに繋がる授業を作りたいと思います。



成田市立成田中学校 三浦 瑛

今年度、教員となり初めての参集方式で発表を聞かせていただきました。ICTを活用した授業作りは試行錯誤しながら行っていますが、何か物足りなさを感じていました。今回の3部会と4部会の発表を聞かせていただき、大変勉強になりました。

3部会の動画を撮影し、後日の振り返りに活用することについて、実験の動画の撮影は以前より行いましたが、後日の振り返りには役立てられていませんでした。実験時の注目ポイントを押さえさせることや、自分たちの発言に注目させるなどの工夫をしながら実践に生かしていきたいと思いました。

4部会での発表では海外の学習体制が日本とは全然違うことに驚きました。他にもどのような違いがあるのかを知りたいなと思いました。生徒自身が自ら学習課題を設定し、仮説を立てて検証して結果から考察するという一連の流れが、ICTを活用することで共有が容易になり、思考が可視化されることでより深められるということがわかりました。ICTを活用した思考を深める活用方法を考えていきたいです。



多くの先生方に積極的にご参加いただきとても充実した時間になりました。子ども達に質の高い学びを提供できるように更に研究を深めていただければと思います。